

令和2年度 岡山県地域公益活動推進センター（岡山ささえ愛センター） 事業報告

総括

岡山県における地域公益活動の基本理念に基づき、県内の社会福祉法人が制度の狭間の課題を解決する仕組みづくりや支援を具体的に実践していくため、社会福祉法人のネットワークをはじめ、多様な関係機関、地域住民との協力・協働のもと、次の事業を実施した。

また、新型コロナウイルス感染症予防対策として、会議・研修等においては、オンラインを活用し行った。

・ 県域のネットワークづくり

「岡山ささえ愛センター」の組織運営及び事業推進を図るため、構成団体である各種別協議会及び県内社会福祉協議会を中心に立場や分野を超えて協議・検討を行った。また、関係福祉団体や支援団体等、多様な機関との情報交換、連携に努めた。

・ 制度の狭間の課題解決に向けた研究・開発

制度の狭間のニーズに対する社会福祉法人の取組推進を図るため、「働きづらさを抱える人のための働く場づくり」をテーマとするモデル事業として2法人・団体を指定し、研究・開発助成を行った。また、リーディング事業では「社会福祉施設における災害支援体制の構築」と「制度の狭間の課題解決プログラムの検討・開発」の2テーマについて、会員参画のもと取組み検討を行った。

・ 市町村域の連携・協働ネットワークづくりの促進・支援

より住民に身近な地域ニーズに基づく、効果的・効率的な地域公益活動の展開を目指し、連携・協働のプラットフォームとなる市町村社会福祉協議会への働きかけや、各市町域のネットワーク組織に対して、より具体的な活動実践に向けた助言支援を行った。また、コロナ禍での運営や活動の課題等についてヒアリングや情報交換を行った。

・ 制度の狭間の課題解決に向けた人材育成

コロナ禍の影響により一部事業中止となったが、地域公益活動の展開において求められる基本的知識や手法の習得等を目的とした人材育成の研修を行った。

・ 地域の公益的な取組の普及啓発（福祉教育）・情報発信

センターホームページやメールによる情報提供を行い、地域公益活動に向けた理解促進を図るとともに、岡山県社会福祉協議会等と連携し県内社会福祉法人の地域公益活動について、広く情報発信を行った。

． 県域のネットワークづくり

(1) 県社協及び各種別協議会を中心とした連携・協働ネットワークづくり

運営委員会の開催

- ・ 第 1 回 〔 期 日 〕 令 和 2 年 6 月 24 日 〔 会 場 〕 きらめきプラザ 〔 出 席 者 〕 21 名
〔 内 容 〕 ・ 令 和 元 年 度 事 業 報 告 に つ い て
 - ・ 令 和 元 年 度 収 支 決 算 報 告 に つ い て
 - ・ 令 和 2 年 度 「 制 度 の 狭 間 の 課 題 解 決 モ デ ル 事 業 」 継 続 指 定 に つ い て
 - ・ 令 和 2 年 度 「 制 度 の 狭 間 の 課 題 解 決 モ デ ル 事 業 」 新 規 指 定 に つ い て 等
- ・ 第 2 回 〔 期 日 〕 令 和 3 年 3 月 16 日 〔 会 場 〕 きらめきプラザ 〔 出 席 者 〕 20 名
〔 内 容 〕 ・ 令 和 2 年 度 補 正 予 算 (案) に つ い て
 - ・ 令 和 3 年 度 事 業 計 画 (案) に つ い て
 - ・ 平 成 3 年 度 予 算 (案) に つ い て 等

(2) 社会福祉法人、市町村社協等の主体的な参画の場づくり

地域公益推進会議の開催

- ・ 第 1 回 〔 開 催 方 法 〕 書 面 審 議 〔 期 間 〕 令 和 2 年 6 月 17 日 ~ 23 日 〔 回 答 者 〕 14 名
〔 内 容 〕 ・ 制 度 の 狭 間 の 課 題 解 決 モ デ ル 事 業 2 年 次 継 続 指 定 に つ い て
 - ・ 制 度 の 狭 間 の 課 題 解 決 モ デ ル 事 業 新 規 指 定 候 補 の 選 考 に つ い て
 - ・ 令 和 2 年 度 リーディング事業部会について
- ・ 第 2 回 〔 開 催 方 法 〕 オ ン ラ イ ン 〔 期 日 〕 令 和 2 年 8 月 19 日 〔 出 席 者 〕 18 名
〔 内 容 〕 ・ 制 度 の 狭 間 の モ デ ル 事 業 に お け る コ ロ ナ 禍 の 対 応 に つ い て
 - ・ 地 域 公 益 活 動 推 進 フォーラムの開催について
 - ・ 地 域 公 益 活 動 推 進 セ ミ ナ ー の 開 催 に つ い て
 - ・ 社 会 福 祉 法 人 に お け る コ ミ ュ ニ ティ ー シ ャ リ ー カ ー の 養 成 に つ い て 他
- ・ 第 3 回 〔 開 催 方 法 〕 オ ン ラ イ ン 〔 期 日 〕 令 和 2 年 12 月 1 日 〔 出 席 者 〕 15 名
〔 内 容 〕 ・ 令 和 2 年 度 事 業 の 進 捗 に つ い て
 - ・ 令 和 3 年 度 事 業 企 画 概 要 (案) に つ い て 他
- ・ 第 4 回 〔 開 催 方 法 〕 オ ン ラ イ ン 〔 期 日 〕 令 和 3 年 3 月 3 日 〔 出 席 者 〕 14 名
〔 内 容 〕 ・ 令 和 2 年 度 事 業 の 進 捗 に つ い て
 - ・ 令 和 3 年 度 事 業 計 画 (案) に つ い て 他

課題別部会の開催

- ・ リーディング事業「社会福祉施設における災害支援体制の構築」部会
- ・ リーディング事業「制度の狭間の課題解決プログラムの検討・開発」部会
 - ☞ 「 ． 制 度 の 狭 間 の 課 題 解 決 に 向 け た 研 究 ・ 開 発 」
(2) 県 域 に よ る リーディングプロジェクトの展開
- ・ 市町村ネットワーク部会
 - ☞ 「 ． 市 町 村 域 の 連 携 ・ 協 働 ネットワークづくりの促進・支援」

(3) 制度の狭間の課題解決に向けた関係団体等との連携・情報収集

各関係団体会議への出席等により、社会福祉法人における地域公益活動の周知とともに、取組連携または連携に向けた意見交換、情報収集を行った。

- ・岡山県事業系食品ロス削減検討会
- ・子どもを主体とした地域づくりネットワークおかやま(岡山こどもの居場所連携事業)
- ・生活協同組合おかやまコープ
- ・セブン-イレブン・ジャパン(セブン&アイグループ) 等

・制度の狭間の課題解決に向けた研究・開発

(1) 制度の狭間の課題解決に向けたモデル事業の研究・開発

モデル事業の企画検討・募集

令和元 2 年度指定 / 「働きづらさを抱える方のための働く場づくり」 >

No.	申請法人・事業所名 / 実施主体	事業名
1	美作お助け隊(美作市)	わーく・わーく事業(中間就労支援)
2	(社福)井原市社会福祉協議会(井原市)	ほっとけんけえ!笑顔と感謝で絆をつくり・仕事をつくる事業

令和 2 年度新規指定 >

No.	申請法人・事業所名 / 実施主体	事業名
1	笠岡市社会福祉法人連絡会(笠岡市)	災害時における福祉支援体制整備事業

上記 1 団体は新型コロナウイルス感染拡大状況を受け、指定を辞退。

(2) 県域によるリーディングプロジェクトの展開

各リーディング事業の企画検討、参画依頼、取組展開を図った。〔以下、2 テーマ〕

テーマ 1 「社会福祉施設における災害支援体制の構築」(災害支援プログラム検討会の開催)

〔目的〕地域と連携した社会福祉法人・施設における災害福祉支援体制の具体的な取組実践に向けた検討。小テーマ「コロナ禍における地域住民に対する災害支援のあり方について」

〔受講数〕11 法人 14 施設・事業所 / 22 名(内、会員 10 施設・事業所)

〔期日〕第 1 回 令和 2 年 9 月 14 日〔会場〕きらめきプラザ

第 2 回 令和 2 年 12 月 7 日〔開催方法〕オンライン

第 3 回 令和 3 年 2 月 2 日〔開催方法〕オンライン

〔備考〕「福祉施設における災害支援プログラム ガイドブック vol.1」の作成。

テーマ2「制度の狭間の課題解決プログラムの検討・開発」(おかやま地域カレッジの開催)
 目的:意欲のある法人による、制度の狭間にあるニーズ・課題への具体的な取組実践につなげる。

(ア)参加者15名(内、会員5施設)/社会福祉法人11名、社協2名、医療法人2名

(イ)第1回 令和2年8月28日〔会場〕きらめきプラザ(オンライン併用)

第2回 令和2年10月9日〔会場〕きらめきプラザ(オンライン併用)

第3回 令和2年12月11日〔会場〕きらめきプラザ(オンライン併用)

(ウ)おかやま地域カレッジオンライン発表会の開催

〔期日〕令和3年3月12日〔開催方法〕オンライン

〔備考〕会員限定で後日オンデマンド配信

・プラン発表者:

久保 巨人 氏「まちのじどう家ん 上東商店」

(社福)クムレ 就労継続支援B型事業所クラシス 管理者

齊藤 泰昭 氏「あじさい塾」

(社福)誠和 特別養護老人ホームあじさいのおか牛窓 主任生活相談員

(3)「地域における公益的な取組」に関するアンケート調査の実施

〔調査期間〕令和2年10月27日~11月20日

調査送付数	515カ所
回答数	279カ所
回収率	54.2%

〔概要〕

・貴施設・事業所では、『地域における公益的な取組』を行っていますか？

	件数	割合	H28 調査	前回比
行っている。	178	63.8%	16.6%	47.2%
しているが、その取組が『地域における公益的な取組』にあたるかどうか不明である。	45	16.1%	22.4%	6.3%
今後、行う予定または検討中である。	14	5.0%	27.8%	22.8%
行っていない。	40	14.3%	28.2%	13.9%
無回答	2	0.7%	4.1%	3.4%
合計	279	100.0%	-	

・市町村域の連携・協働ネットワークづくりの促進・支援 【岡山県社協との協働事業】

(1) 市町村域社会福祉法人連絡会の設置促進及び充実・強化

3市町域で新たにネットワークが設立され、計15圏域(16市町村)となった。また、4市2町において設立準備や連携協働の場づくりに向けた検討が行われた。

市町村域ネットワークづくり助成事業の実施

ネットワークのプラットフォームとなる市町村社協を通じて、準備段階や設立当初の個別支援及び運営費・事業費の一部経費の助成を通じて、設置促進及び活動強化を図った。

なお、コロナ禍における事業進捗への影響を踏まえ、確実なネットワーク体制の構築のため、令和2年度に限り次年度への助成金繰越を認めた。

〔指定社協〕12市町社協(指定2年次9社協、1年次3社協)

2年次：岡山市社協・倉敷市社協・玉野市社協・笠岡市社協・高梁市社協・新見市社協・瀬戸内市社協・矢掛町社協・早島町社協

1年次：備前市社協・勝央町社協・吉備中央町社協

各市町村域ネットワーク並びに市町村社協等へのアウトリーチ(個別相談等)の実施

市町村域の社会福祉法人ネットワークの組織化または活動強化に向けて個別訪問や会議参画し、先進地の情報提供や技術的な助言を行った。コロナ禍により訪問数は減少するも、事例や参考資料の情報提供等に対応し、個別の支援を行った。

〔訪問数〕5市3町 計17回

市町村域における社会福祉法人等ネットワーク状況調査の実施(令和2年10月実施)

各市町村域の社会福祉法人ネットワークにおける構成や財源、活動内容並びに取組課題等を把握し、連携・協働による社会福祉法人等の地域公益活動推進支援のための基礎資料とした。

・新型コロナウイルスの影響による事業進捗にかかるヒアリング

〔調査実施〕令和2年9月

〔調査対象〕市町村域ネットワークづくり助成指定先(12市町社協) 〔回収率〕100%

・ネットワーク状況調査の実施

〔調査実施〕令和2年10月 〔調査対象〕県内市町村社協(27ヵ所) 〔回収率〕100%

市町村域ネットワーク組織化説明会等の開催

市町村域の社会福祉法人ネットワークのプラットフォームとなる市町村社協を中心に、組織化の意義と必要性や期待される役割について、地域共生社会の実現に向けた社協の役割を踏まえ、役員・管理職員または担当職員に向けた説明を行った。

・市町村社会福祉協議会会長・常務理事・事務局長会議の開催

〔期日〕令和2年10月12日 〔会場〕きらめきプラザ〔出席者〕70名

〔内容〕法人連携ネットワーク未設置市町村の社協への働きかけ等

- ・市町村社会福祉協議会事務局長・支所長会議の開催
〔期日〕令和3年2月3日 〔会場〕きらめきプラザ 〔出席者〕47名
〔内容〕法人連携ネットワーク未設置市町村の社協への働きかけ等
- ・生活困窮者自立支援事業等実施社協連絡会（兼 市町村ネットワーク部会）
〔期日〕令和2年8月27日 〔会場〕きらめきプラザ 〔出席者〕22名
〔内容〕社会福祉法人と連携した緊急一時食料支援等の困窮者支援の取組について 他
- ・市町村域社会福祉法人ネットワーク情報交換会の開催（兼 市町村ネットワーク部会）
〔期日〕令和2年12月9日 〔会場〕きらめきプラザ
〔出席者〕26名 / 15市町（社協24名、施設法人2名）
〔内容〕各市町村域の実施状況報告、取組推進課題に対する解決方策の意見交換

企業からの商品寄贈を通じた地域公益活動の推進支援

市町村域における社会福祉法人の連携による地域公益活動の後方支援等を目的に、コロナ禍における緊急支援活動や、地域におけるふれあい・支え合い活動等に活用するための企業による商品寄贈の県域調整・配分を行った。

〔寄贈受入実績〕 計10件

〔寄贈商品の配分〕延べ59カ所（内、センター会員40カ所）

・制度の狭間の課題解決に向けた人材育成【岡山県社協との協働事業】

（1）地域の公益的取組の実施に向けた研修の企画・開催

コミュニティ・ソーシャルワーク研修の開催

コミュニティ・ソーシャルワークの基本的な視点と地域の課題発見の視点や手法を、地域公益活動の実践等から学び、それぞれの取り組みにつながることを目指した研修会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催日を延期（9/3・9/11 12/8・12/18）その後中止した。

地域実践研修

地域を基盤としたソーシャルワークを実践するため、地域支援と個別支援の機能の理解、基本的な知識・視点の習得を目的とした研修会を開催した。

〔期日〕全3回 第1回：令和2年7月31日

第2回：令和2年9月4日

第3回：令和3年2月12日

〔会場〕きらめきプラザ

〔参加者〕延べ122名（内、ささえ愛センター会員法人職員122名）

〔講師〕美作大学生生活科学部 社会福祉学科 特任教授 小坂田稔氏

岡山県地域包括・在宅介護支援センター協議会 学識 橋本 眞紀氏

- 〔内容〕「コミュニティ・ソーシャルワークの基本とは？」
「コミュニティワークに必要なアセスメントとその方法」
「相談援助面接を磨くクライアント理解の基礎」
「コミュニティ・ソーシャルワークの展開に向けて」等

おかやま地域カレッジ

- ☞ ．制度の狭間の課題解決に向けた研究・開発
（２）県域によるリーディングプロジェクトの展開

．地域の公益的な取組の普及啓発（福祉教育）・情報発信【岡山県社協との協働事業】

（１）県民、関係団体、県・市町村行政等への情報発信（見える化）

県内の社会福祉法人の取組機運を高めるとともに、住民等からの理解促進を図るため、以下の取組を実施し地域における公益的な取組の普及啓発を図った。

岡山ささえ愛センターホームページの運営・改修

「地域の連携・協働による取り組み」ページにおける各市町村域ネットワークの情報について、各ネットワークより直接、更新が可能とする改修等を行った。

会員向けメール情報配信

（２）県内社会福祉法人及び県民、行政、関係機関等への普及啓発

令和２年度地域公益活動推進フォーラムの開催（社会福祉法人役員セミナー共催）

岡山ささえ愛センターの取り組み報告を通じて、社会福祉法人が果たす役割や地域公益活動の実施意義について理解促進を図った。

〔主催〕社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会〔共催〕岡山ささえ愛センター

〔期日〕令和３年２月１５日（月）１３：００～１６：００

〔会場〕きらめきプラザ（オンライン併用）

〔対象〕施設経営社会福祉法人役員、市町村社会福祉協議会役員・事務局長等

〔参加者〕５６名（会場１７名、オンライン３９名）内、ささえ愛センター会員関係３５名

〔内容〕プログラム２『地域に開かれた社会福祉法人・施設に向けて』として、本県内での「地域公益活動」に向けた事業の取組報告を行い、社会福祉法人が「地域公益活動」に取り組むメリット・必要性を改めて啓発を図った。

〔登壇者〕

・福原文徳 氏（地域公益推進会議委員長／社会福祉法人日本原荘 理事長）

① 「制度の狭間のニーズに対応するプログラム開発」

直島克樹 氏（地域公益推進会議委員／川崎医療福祉大学 講師）

② 「災害福祉支援検討会における地域住民の支援体制の検討」

寺坂弘昭 氏（地域公益推進会議委員／障害者支援施設ココロみのり 施設長）

③「市町村域における社会福祉法人ネットワークの取組み」

春名正敏 氏（地域公益活動推進センター運営委員 / 美作市社会福祉協議会 事務局長）

地域公益活動実践セミナー

地域公益活動の実践に向けて具体的な取組ノウハウの取得による活動促進を図った。

〔時期〕令和3年1月28日（木）13：30～16：00

〔方法〕オンライン

〔対象〕岡山ささえ愛センター会員施設・事業所の職員

〔参加者〕13名

〔内容〕・初心者も安心 オンライン会議を体験してみよう！

講師：青木将幸（青木将幸ファシリテーター事務所）

・地域公益活動の取組における課題や悩みについて情報交換

種別協議会、市町村社協との連携による普及啓発の実施

構成団体の各種別協議会の役員会、総会等において会員加入状況、本センターの動き・取組紹介等、周知広報・協力依頼を行った。

・事業を通じたソーシャルアクション

（1）県・市町村行政へ向けた提言活動の実施

県社協、種別協等との連携による県行政等との意見交換会の開催

・構成団体事務局との情報共有・連携調整会議

〔期日〕令和2年4月1日 〔会場〕きらめきプラザ

・岡山県社会福祉協議会 令和2年度社会福祉団体等会員会議

〔期日〕令和2年12月23日 〔会場〕きらめきプラザ

〔出席者〕27名（会員団体：18団体 / 18名他）

〔内容〕市町村域における社会福祉法人の連携・協働による、地域課題解決に向けた地域公益活動の取組説明